

第2回京田辺市史編さん委員会（会議録要旨）

日 時 平成30年7月12日（水） 18時30分～19時00分

場 所 京田辺市役所305会議室

出席者 <委員>山口委員長、井上副委員長、菱田委員、小林委員、岸委員、
上杉委員、林委員、村上委員、白井委員

<事務局>前川市史編さん室長、河原担当係長、松本主事、藤田囑託

1 開会

2 委員紹介【事務局から委員を紹介】

3 委員長あいさつ【山口教育長から挨拶】

4 会議の公開について【委員長から説明】

5 議事

1) 平成29年度の事業実績について【事務局から説明】

- ・磯田さんのアンケートは採ったのか（山口委員長）
- ・非常にご好評いただいた。今まで、歴史に接することが少なかった市民の方からも高い関心があった。（事務局）

2) 地域協力員及び市民ボランティアについて

3) オンラインストレージについて

- ・地域協力員について、どのような仕事をされるのか。各地域1名で地域全体を把握できるのか。また、新興地域の協力員で古い地域のことまでも把握できるのか。（林委員）
- ・協力員の仕事は新しい歴史資料の発見に協力していただくことである。また、人数については、今後状況に合わせて増加させる予定である。各地域に1名ではなく、協力員の得意分野に応じて増やしていく。（事務局）
- ・委員と地域協力員とが直接交渉するのは難しいので、事務局の方で取りまとめて情報提供をしてほしい。また、オンラインストレージについて、一部データをアップロードすることができない場合があったので、どういった仕組みなのか教えてほしい。（岸委員）
- ・事務局で確認できていないので、後日業者に確認させていただきたい。現在、アップロードが出来ないという問題については、データをCD等に移していただいて、編さん室に送付していただければ、事務局からアップロードさせていただく。（事務局）

- ・市民ボランティアの件だが、市史編さん委員会でどんな情報がほしいのか、集約して投げかけてはどうか。専門部会ごとで意見や要望をまとめて提案してはどうか。(井上副委員長)
- ・先生方からご要望をいただければありがたい。事務局としては、取得した情報は早い段階で提供しているので、双方向で情報を発信していきたい。(事務局)
- ・地域協力員は担当地域制なのか。京田辺市郷土史会を代表しているのか。どういった経緯で選ばれたものなのか。(小林委員)
- ・基本的には、郷土史会代表という訳ではないが、郷土史会をまとめていただける方を選んだ。(事務局)
- ・そのことと、担当地域とはうまく重なるのか。(小林委員)
- ・ご協力いただいている郷土史会会員などの各所で活躍されている方を指名したのは間違いないが、記載している担当地域については在住されている地域を明記した。今後は、様々な分野をカバーできるように人員を増やしていく。(事務局)

4) 平成 30 年度の事業計画について

5) 刊行計画について

【事務局から説明】

- ・事業計画等については専門部会とは調整しているか。(山口委員長)
- ・調整している。(事務局)
- ・予算の件について、この予算編成は専門部会の要望を受けて編成したのか。(井上副委員長)
- ・事務局の方で、市の割り当て予算に専門部会の重要度を加味して、提案させていただいた。(事務局)
- ・旧一休ヶ丘公民館には民俗資料だけでなく、考古遺物も含まれているのか。(林委員)
- ・含まれている。(事務局)
- ・今後調査進んでいく中で、様々なことが出てくると思うのでその度に調整したい。非常に長い計画なので、いつでも相談できる体制を整えたい。(山口委員長)
- ・次回日程については、改めて連絡させていただく。(事務局)
- ・それでは、第 2 回市史編さん委員会を閉会する。(事務局)